

3-7 授業情報技術講習会

本講習会は、コンピュータ・ネットワークを活用した教材・資料の作成及び提示など、教員による初歩的な情報技術の修得・理解を促進することを目的として開催している。12年度には8月と3月に合わせて2回の講習会を開催したが、13年度は、参加者が講習の成果を次年度の授業に取り入れられるよう、時期を8月に限定し、会場規模を拡大して開催した。

(1) 開催要項の決定

12年度と同様、プレゼンテーションツールの基本操作を修得する基礎コースと、プレゼンテーションに関する動画の加工編集を修得する応用コースを設定し、参加者の技術水準と興味対象により選択することとした。また、多くの参加希望に対応するため、基礎コースは東京地区と大阪地区で同時開催することとし、応用コースは大阪地区で昨年度より会場規模を拡大して開催した。

平成13年度授業情報技術講習会

日時：【基礎コース】平成13年8月27日～29日
【応用コース】平成13年8月30日～9月1日

場所：【基礎コース（東京）】上智大学
【基礎コース（大阪）】大阪経済大学
【応用コース】大阪電気通信大学

1. 目的

この講習会は、受講目的、経験に応じてテーマを設定し、コンピュータ、ネットワークを活用した教材・資料の作成および提示方法などを実習により修得し、教員の方々に情報技術の理解をいただくことを目的とします。今年度は募集規模の拡大を図り、8月に限定して開催いたします。基礎コースは同一プログラムにより、東京、大阪両地区で開催いたします。

2. 受講者対象

基礎コース：「プレゼンテーションツールの基本操作」

授業にコンピュータ等の活用を考えている教員で、ワープロなどの操作技術をあらかじめ修得している方を対象とします。

※コンピュータに関する基本用語の理解、キーボード・マウスなどの基

本的な操作技術があることを前提に講習します。

応用コース「プレゼンテーションに関する動画の加工編集」

既にコンピュータを用いた教材作成を実践している教員で、プレゼンテーションソフトなどの操作方法を理解している方を対象とします。

※コンピュータ、MS-Windows、MS-Office等について基本的な理解があり、一通りの操作技術があることを前提に講習します。

3. 講習内容

各コースとも、授業における情報技術の活用について、概念理解から教材作成、提示・プレゼンテーションの方法まで一貫して講習します。

【基礎コース】

実際の授業で活用できる初歩的な情報技術、例えば、グラフや写真などの画像と文書を合成・編集し、掲示する技術などを実習を中心に行います。

【応用コース】

授業でのプレゼンテーション効果を高めるための技術、例えば、動画画像などを盛り込んだ教材、資料の作成技術について、実習を中心に行います。

4. 講習プログラム

各コースとも実習中心の講習を3日間で行います。

【基礎コース】

1日目：8月27日（月）

- | | | |
|-------|----|--|
| 10:00 | 講習 | プレゼンテーションの基本と効果
マルチメディア教材によるプレゼンテーションの目的、用途、種類、効果的なプレゼンテーションと評価法 |
| 13:00 | 実習 | プレゼンテーションツールの基本操作
プレゼンテーションツールの基本操作、スライド作成の基本技術、効果的なスライド作成（アニメーション、スライドショーなど） |
| 15:30 | 実習 | プレゼンテーションの表示、表現技術の基礎 |

2日目：8月28日（火）

- | | | |
|-------|----|--|
| 10:00 | 実習 | 画像の取り込みと編集の基礎
画像の取り込み、画像の加工 |
| 13:00 | 実習 | 編集、貼り付けと効果
画像、文書、表計算などの編集と教材作成
効果的なプレゼンテーション |

- 15:30 実習 目的別の教材作成
プロジェクタ、モニターなどによる教室提示用教材
印刷、配布用教材、Webページ用教材

3日目：8月29日（水）

- 10:00 実習 Webツールの基本操作方法
インターネットを利用した教材作成の実践（解説）
HTMLツールによるWebページの作成
- 13:00 実習 Webツールによる教材作成
画像の取り込みと加工
Webページのデザイン
- 15:30 実習 プレゼンテーション教材・Webページ教材の作成実習
プレゼンテーションの実際と授業の進め方
Webページの教育への利用法と評価法

【応用コース】

1日目：8月30日（木）

- 10:00 講習 映像を取り入れたプレゼンテーションについて
動画像技術の実際（著作権問題も含む）
効果的な表現技術（画像・映像の技術と効果）
- 13:00 実習 動画像の基本操作
ノンリニア編集とDV編集ツールの基本操作
教材、資料の提示と方法、種類と効果
- 15:30 実習 動画像の基本操作
パソコンへのデータ取り込み
DV編集技術の基礎

2日目：8月31日（金）

- 10:00 実習 動画像の編集(1)
加工・編集ツールの基本操作
- 13:00 実習 動画像の編集(2)
素材データの加工と編集
- 15:30 実習 教材作成
動画像を取り入れた教材の作成

3日目：9月1日（土）

- 10:00 実習 Webページへの応用
インターネットを利用したマルチメディア教材作成の
実践（解説）、マルチメディアによるWebページの作成
- 13:00 実習 マルチメディアWebツールによる教材作成

ストリームソフトウェアによる動画像教材の作成
VOD、ビデオクリップの利用法
15:30 実習 Web ページとDV教材の利用法と評価
DV教材の授業への効果的な利用法
自学自習のためのDV教材の効果的な利用法

(2) 開催結果及び次年度の準備

参加者数は、基礎コース139名（東京地区：79名〔41大学、9短大〕、大阪地区：60名〔29大学、15短大〕）、応用コース73名（49大学、10短大）であった。開催結果の概要は巻末の資料編【資料12】を参照されたい。

アンケート結果では、基礎コース、応用コースとも、前回同様、実習の進行が早すぎるとの指摘があり、次回には、参加者の技術水準が一定でないことを考慮しながら実習のテーマを精選する他、個々の参加者の質問に対応できるよう会場校のアシスタントを増員することを検討している。なお、基礎コースでは、運営体制の不足を補うため、初日の講習では、衛星回線及びISDN回線を使用して遠隔講義を実施したところ、アンケート結果などから東京地区、大阪地区とも理解度に差異がないことが判った。次回には、賛助会員の協力を得て3地点以上を結んだサテライト方式の講習会を実施することを予定している。